



2003

賀
年

A HAPPY NEW YEAR

Frost

氷の夜

凍てついたロシアの大地。シベリアの奥深く、中世風のたたずまいを残す町がある。シベリアでもっとも古く美しい町、石造りと木造の古い家々が立ち並ぶ町、イルクーツク。人々はマイナス20度以下にもなる町の通りを、分厚い毛皮と手袋にくるまって、暖かそうに通過ぎていく。

町の中央にはアンガラ川が流れ、その流れの水はシベリアの豊かな恵み、バイカル湖へとそそぎ込むが、冬の間、川は白く厚い堅固な氷にとざされてその流れを隠してしまう。

川の両岸を縁取る街路樹は、夜明け前、アンガラ川の氷から立ち昇る白い霧に被われて、凍りついた霧氷に変貌する。真っ白に凍った街路樹は、霧に煙る川岸に沿ってどこまでも続き、時間を止められた氷の彫刻となる。木々は氷の小さな粒をキラキラさせながら、ピンと緊張した枝を天空に向かってさしだしている。

この町では、毎朝のようにこんな奇跡が繰り返されるのだ。夜がくると、子供も大人も赤ん坊でさえも、ヨールカ祭りのお祝いのために町の中央広場に集まってくる。

ロシア正教のクリスマスは、新しい年1月の7日。

12月25日からその日がくるまで、毎日がクリスマスの祝い日なのである。

町で一番大きな広場には、ロシアのサンタクロースであるマロース爺さんや、スネグローチカ(雪娘)をかたどった巨大なロシア人形が飾られる。そしてその周りには、たくさんの夜店。

風船や、お菓子、シシカバブを焼いて売る店もある。

小さな子供達は親に手をひかれ、ゆらゆら揺れる風船を手にし、宝石のような青い目で不思議そうに人形を見上げたり、笑ったり。

子供は皆着ぶくれして、首を回すのもおっくうそうだ。

少し大きな子供達の遊び場は氷の城。

広場には、祭りの間中溶けることのない

氷の城や家が幾つも作られて、

一番大きな城の門からは、氷の滑り台が突き出し、

氷の城壁からたくさんの子供達が、

歓声を上げて滑りおりてくる。

何度も何度も、滑りおりてくる。

楽しい夜が本当に終わってしまうまで。

奇跡の起きる町、イルクーツク。

氷の夜は、いつまでもいつまでも、

町を眺めていた。



COLUMN

鎌倉の猫事情
新年のご挨拶

さて、こちらはグーニー君一家。ミルクホールのお客様の方々には、家族ともども身に余るほどのご厚情を頂いております。昨年は、愛妻スイービーが、3月、6月、10月と、3度の出産を致しました。生れながら安産体質といいながら、なかなか苦労も多かったこと、思います。いずれもすくすくと育ち、あちこちへと巣立って行きました。今年も、昨年同様グーニー始め、家族全員、お客様には失礼の数々もあろうかとは思いますが、どうか、大目に見ていただきたく、

本年もよろしくお願ひいたします。
今回は、鎌倉の猫事情 第三十三話。お楽しみに...

